

保健だより

乳幼児健康診査

健診(予防接種)内容		日 時	場 所	対 象 者	個別通知
個別健診	1 カ月児健診	5 月中	県内小児科	平成31年 4 月生	なし
	3 ～ 4 カ月児健診	5 月～ 6 月中		平成31年 2 月生	
	9 ～ 10 カ月児健診			平成30年 8 月生	
	1 歳 6 カ月児健診	5 月中	〈小児科〉 県立釜石病院 国立病院機構釜石病院 釜石しょうけいクリニック 〈歯 科〉市内歯科医院	平成29年10月生	あり
	3 歳児健診			平成27年10月生	
集団健診	6 カ月児健診・BCG接種	5月29日(木) 受付13:00～13:15	市保健福祉センター 9階	平成30年11月生	あり
	2 歳児いい歯健診	5月16日(木) 受付 8:45～ 9:30		平成28年10月生	
	4 歳 6 カ月児発達検査	5月23日(木) 受付 9:00～ 9:30		平成26年10月生	

母子健康手帳の交付・各種教室・集団予防接種

内 容	日 時	場 所	対 象 者	申込期限
母子健康手帳の交付	5月10日(金)、17日(金)、24日(金)、 31日(金) 受付13:30～15:00	市健康推進課	妊娠届出書を取得した妊婦	申し込み 不要
①パパママ準備教室(※1) ②ベビーマッサージ(※2)	5月18日(土) ① 9:30～11:30 (受付9:20～ 9:30) ②10:00～11:30 (受付9:50～10:00)	市保健福祉センター 9 階	①妊娠6～7カ月の妊婦 および配偶者 ②おおむね4～12カ月児	5月15日(木)
もぐもぐごっくん教室 【初期】(※2)	5月15日(木) 10:15～11:30 (受付10:00～10:15)	青葉ビル 研修室1・2	おおむね5～6カ月児	5月13日(月)
かみかみごっくん教室 【中・後期】(※2)	5月22日(木) 10:15～11:30 (受付10:00～10:15)		おおむね7～12カ月児	5月20日(月)

※1母子健康手帳、母子健康手帳副読本 ※2母子健康手帳、バスタオル

市開設相談

内 容	日 時	場 所	対 象 者	申込期限
栄養相談	5月16日(木) ①14:00～14:50 ②15:00～15:50 ③16:00～16:50	市保健福祉センター 8 階	市内に住所がある20歳以上の人	5月13日(月)

問い合わせ…市健康推進課(市保健福祉センター2階) ☎22-0179

釜石保健所開設相談

内 容	実施日	実施時間
精神保健相談(こころの相談)	5月28日(木)	13:30～16:00 ※予約制
エイズ相談・検査	5月16日(木)	11:00～12:00 ※予約制
性感染症検査(性器クラミジア検査・梅毒検査)		
肝炎ウイルス検査(B・C型)		
HTLV-1相談(ヒトT細胞白血病ウイルス-1型相談)・抗体検査		
骨髄バンク登録		13:00～14:00 ※予約制

問い合わせ…釜石保健所保健課 ☎25-2710

先天性難聴は1000人に1～2人といわれ、他の先天性疾患に比べて出現頻度が高いのが特徴です。先天的な聴覚障害の約半数はリスク因子を持たない子に発生する事が近年分かってきました。両耳難聴の子どもは、早く発見して補聴器を装用し、聞く力や話す力をつける練習をすることが必要です。平成19年から、全ての新生児に生後1週間内に聴覚検査を行い、難聴を早期発見するための取り組みが行われました。当初は検査自体が自費のため受けられない子どももいたようですが、平成24年から、母子健康手帳に新生児聴覚検査の結果記載欄が設けられました。現在、6歳までの子どもには母子健康手帳にこの検査をしたかどうか記載されています。産後、医師から検査の必要性を聞いて、入院中に受けているかと思っています。

新生児聴覚スクリーニング検査を生後1カ月で終了。異常を指摘された子どもは生後3カ月までに耳鼻科専門機関で精密検査。難聴が判明した場合は生後3カ月から6カ月までに言語の養育訓練開始が望ましいといわれています。県内全ての産婦人科医療機関で、各自治体から公費負担が受けられる聴覚検査が可能です。平成30年度、岩手県で出生数9267人の約90%が聴覚検査を行い、この内27人が精密検査の対象となりました。

新生児の訪問指導の際は、母子健康手帳で新生児聴覚検査の受診状況を確認し、支援が必要な子どもに対し養育を開始するように指導を行うことになっています。

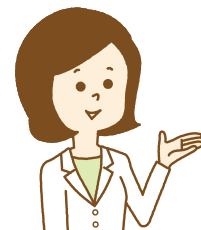
新生児聴覚スクリーニング検査



堀耳鼻咽喉科眼科医院

堀 晃

ワンポイントアドバイス



高齢者肺炎球菌予防接種の助成を延長します

保健案内板

【問い合わせ】市健康推進課 ☎22-0179

市は、平成26年度から平成30年度まで実施した、65歳以上の高齢者に対する肺炎球菌予防接種の公費助成を5年間延長します。対象者には4月下旬に予診票と案内書、指定医療機関一覧表を郵送します。

対象者 釜石市民で、次の①または②の人

※過去に肺炎球菌予防接種(23価ワクチン)を受けたことがある人は対象外です

※予診票が送付された場合でも、過去に任意接種で受けたことがある人は助成対象になりません

①平成31年4月1日～平成32年3月31日に、65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳になる人、100歳以上の人

対象者	生年月日	対象者	生年月日
65歳になる人	昭和29年4月2日～昭和30年4月1日	85歳になる人	昭和9年4月2日～昭和10年4月1日
70歳になる人	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日	90歳になる人	昭和4年4月2日～昭和5年4月1日
75歳になる人	昭和19年4月2日～昭和20年4月1日	95歳になる人	大正13年4月2日～大正14年4月1日
80歳になる人	昭和14年4月2日～昭和15年4月1日	100歳以上の人	大正9年4月1日以前に生まれた人

②60歳以上65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器に障がいがあり、日常生活が制限される人と、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり日常生活が制限される人

予診票の発送

接種期限 平成32年3月31日(木)

接種料金(自己負担額) 4,000円※生活保護受給者は無料

接種方法 指定医療機関での個別接種。詳しくは案内書をご覧ください

助成回数 1人1回



～高齢者肺炎球菌対象者の家族や親戚の皆さんへ～

普段元気になっている人でも、気候の変化や体調の変化、持病の悪化など、ちょっとしたことがきっかけで、肺炎にかかる可能性があります。定期接種の対象者は、予防接種の公費助成制度を利用し、肺炎の予防につとめましょう。

最近の65歳以上の方は、元気な人が多く、「まだまだ元気」「自分だけは大丈夫」と思っている人もたくさんいますが、若い頃より抵抗力(免疫力)は低下しています。過信せずに早めの予防を、ご家族やご親戚で呼びかけてください。

よくある質問

Q

肺炎は、冬に多い病気?

A

冬に限らず、1年を通してかかる可能性があります。風邪・インフルエンザや体力・免疫力の低下などが原因となります。また、唾液や飲み物、食べ物などが気管に入ってしまう誤嚥による肺炎もあります

Q

肺炎球菌ワクチンの免疫はどのくらい持続するの?

A

健康状態にもよりますが、5年以上といわれています

Q

ワクチンの再接種はできないの?

A

接種してから5年以内に再接種すると、注射部位の痛みが強くなる場合があります。再接種する場合は、かかりつけ医やお近くの医療機関にご相談ください

Q

定期接種(助成有り)の対象年度を過ぎてしまった。5年後に定期接種を受けられる?

A

受けられません。本年度に65歳以上の誕生日を迎える人が定期接種の対象となるのは、平成35年度までの間に1人1回となっています。該当年齢時の対象年度内に接種しなければ、助成を受けられなくなります。ただし、任意接種(助成なし)は可能ですので、かかりつけ医やお近くの医療機関へお問い合わせください

Q

「1人1回」とはどういう意味?

A

定期接種(助成有り)の対象となるのが、平成35年度までに、未接種者に限り「1人1回」という意味です。過去に接種したことがある人は定期接種の対象にはなりません

問い合わせ 市健康推進課 成人保健係 ☎22-0179